

私のすすめるこの1冊

福間 拓（教職キャリア高度化センター 准教授）

『米内光政』（新潮文庫）

阿川 弘之（著）

今年になり首相が変わり、皆さんもこれからの日本どのようになっていくか、リーダーへの期待と不安、興味があるのではないのでしょうか。皆さんは米内光政という人をご存知でしょうか。よほど歴史や海軍に興味のある方か、岩手県の方でなければ知らないかもしれません。米内光政は日本の軍人、政治家です。時代は明治から太平洋戦争を挟んだ終戦直後までの物語です。

本書の面白さは、米内光政の二極の人間性です、部下に慕われ、話し上手ではないが、おからが好きで、お酒にめっぽう強く、気の合った仲間との酒席での愛すべき酔態の一極。明治、大正、昭和初期と激動の時代、海軍という組織の中で時代の流れを対局で見極め、成すべきを成し、太平洋戦争へ向かう昭和期において海軍大臣、首相として日独伊三国同盟に反対し、早期終戦に尽力するなど極限まで追い込まれ瀬戸際での旗幟鮮明で沈着な行動が一方の極として、本書では米内光政の、人間の幅の広さとして時代の流れと共に見事に描かれています。本書での米内光政のエピソードをいくつか紹介します。

○海軍兵学校時代の「グズ政」

米内は決して成績のよい目立つ生徒ではなく、兵学校では「グズ政」とあだ名されていました。軍人となってからも派手な戦功をあげたわけではありませんでした。しかし、地道にこつこつという信条のもと米内は努力を重ね、閑職にあっても腐ることなく仕事をまっとうしました。

○米内光政と読書

海外のドサ回りが長く、海軍内で「クビ5分前」と呼ば

れた閑職、鎮海要港部司令長官時代には、その境遇を逆手にとり、米内はありとあらゆる本を読み、膨大な知識や教養を身につけました。その後、大器晩成として輝きを放ち、佐世保と横須賀の鎮守府司令長官を経て1936年（昭和11）12月には海軍最高の栄誉とされた連合艦隊司令長官となりました。

○条約反対三羽ガラス

米内は海軍大臣となり、統制のゆるんだ海軍を立て直すため、海軍次官であった山本五十六、海軍省軍務局長の井上成美の3人と共に海軍を統制し、イギリス、アメリカとの対決回避のために、日独伊三国同盟問題に対して、盟友と共に同盟を結ばせまいと、海軍を一つひっさげた形で日独伊三国同盟締結に徹底的に反対しました。

○再び海軍大臣に就任、終戦へ

1944年（昭和19）7月米内は現役に復帰して小磯内閣の海軍大臣となります。続く鈴木内閣でも留任。終戦に向けた和平工作を行います。普段は穏やかで無口だった米内ですが、徹底抗戦を主張する軍人達には声を荒げて叱責しています。米内は副首相格海軍大臣として、日本が本当に向かうべき方向に向かわせた識見のある政治手腕は、8月9日深夜の御前会議で、最終的に天皇のご聖断にまで持っていくことに成功しました。

もう一方の極、米内のその風貌と温かな性格、更にお酒にも強かった為、非常にモテことなどは、本書のその折々に盛り込まれております。本書にて海軍の良心、日本の良心、人間の幅に触れていただきたいと思います。

第2回教育展 — 京都教育大学所蔵 古紙幣の世界 —
「おかね」の歴史とデザイン



第2回教育展「おかね」の歴史とデザイン—京都教育大学所蔵古紙幣の世界—

教育資料館で所蔵している江戸時代から明治初期にかけての古紙幣や関係資料を展示し、前近代の通貨の流通事情や、さまざまなデザインに込められた意味などを解き明かします。

◆◆◆教育資料館のホームページにて
デジタル展覧会としてご覧いただけます！◆◆◆

【開催期間】令和2年11月19日（木）より順次公開予定



解説パンフレットや展示物の写真、会場の様子やミュージアムトークなどのコンテンツを掲載予定です。どなたでもご覧いただけますので、ぜひお楽しみください。

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/exhibition/2020/10/2.html>



本展は京都教育大学附属図書館 北館 1階企画展示室にて11/19(木)から12/25(金)まで展示しています。京都教育大学の在学生・教職員の方は、附属図書館の開館時間に準じて観覧可能です。

【主催】京都教育大学教育資料館
(まなびの森ミュージアム)

【共催】京都教育大学附属図書館

【協力・資料提供】尼崎市立歴史博物館

＜一般来場の方へのお願い＞

附属図書館は現在新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般利用者の方（学外者、卒業生含む）の閲覧利用をお断りしております。

今年はぜひ Web コンテンツでお楽しみください。

丸善電子書籍 (Maruzen eBook Library) 試読サービスのお知らせ

附属図書館より、丸善雄松堂の電子書籍 Maruzen eBook Library の試読サービスをご案内します。

○Maruzen eBook Library のうち約60,000点の学術書などにアクセス可能

○1タイトル1回5分間読むことができます（印刷・ダウンロード不可）

○もっと読みたい電子書籍にリクエストを送れる機能付き

○自宅など学外からでもアクセスできて便利

試読期間：令和2年10月12日(月)～12月11日(金)

対象出版社（一部）：朝倉書店、学文社、かもがわ出版、セングージラーニング、平凡社、ミネルヴァ書房、吉川弘文館、など多数

利用方法

1. 附属図書館トップページの「お知らせ」欄より Maruzen eBook Library のサイトにアクセスしてください。

2. 検索フォームからキーワードなどで検索してください。

3. 「試読」というボタンが出てきたものが試読対象です。

※購入してほしい電子書籍があれば「リクエスト」ボタンを押し、必要事項を入力して送信してください。

原則として、試読期間終了後に利用状況などを考慮して購入の可否を決定しますが、急ぎで必要な場合は別途検討しますので、コメントにその旨記入してください。試読サービス終了後、リクエストやアクセス統計を元に一定数購入します。

購入した電子書籍は今後も図書館資料として利用することができますので、ぜひこの機会にさまざまな資料にふれてください。



ブックレポート応援コーナー



教育学科必修科目「教育の理念と歴史」との協同事業としてブックレポートを作成するための図書展示をおこなっています。

テーマは

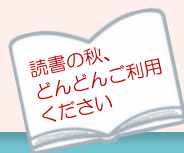
「真面目に勉強」はカッコ悪くない！

一歩先を行きたい京教生のためのおすすめ本！

【展示場所】

南館2階の階段付近

図書展示にこだわらず、附属図書館をまわりながらテーマにあった様々な本を探してみてください！



京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第23回の報告

YouTubeで公開予定です！

【講師】児玉 一宏（英文学科 教授）

【テーマ】ことばの科学-英文法の不思議発見

第24回のお知らせ

【日時】12月YouTube 公開予定

【場所】今回はYouTube 公開のみです

【講師】延原 理恵（家政科）

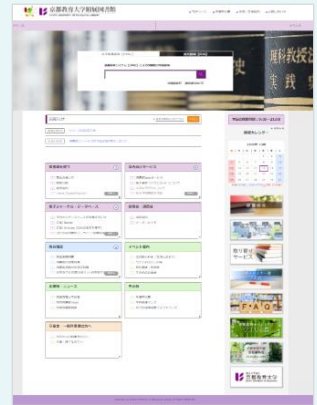
【テーマ】居は気移すー環境が変われば〇〇が変わる

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

附属図書館ホームページをリニューアルしました

10年近くご利用いただいております附属図書館のホームページにつきまして、新サーバへの移行を機にリニューアルいたしました。

新URL: <https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
コンテンツの整理・最新化、スマートデバイスでも閲覧容易なレスポンスデザイン化を行うなど機能性向上を目指しています。今後とも他図書館サービスとともにご活用ください。



学修相談カウンター

理科教育専修、数学教育専修の先輩たちがいろいろな質問に対応してくれます。免許を2つ以上取りたい、初等・中等算数科教育理科の授業づくりなど色々相談してみてください。



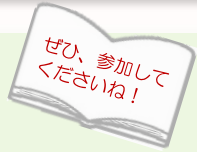
【場所】附属図書館北館2階ラーニングコモンズ廊下側

【日時】月～金

15:00～17:00 または 16:30～18:30

※実施時間や相談可能な科目は日によって異なります。

リクエストと投票で
話題の本を読もう！



学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！

11月の投票期間は

11月5日（木）～11月21日（土）

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入していません。

児童書コーナー（南館1階）



学生による絵本のよみきかせ
★しばらくお休みです。

今月の絵本カード
（学生作）

『おでかけのまえに』

作：筒井 頼子

絵：林 明子

出版社：福音館書店



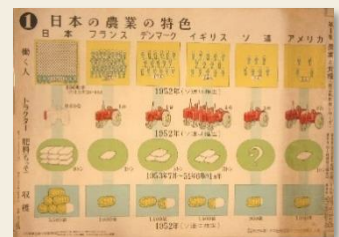
※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品
（10・11月）

「農業、食料生産にかかわる教材掛図
（4枚8面）」

展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **小笠原 真也** (音楽科 教授)

鑑賞授業における編曲作品の有効な活用について

— F.リストの作品を例に —

小笠原真也・松浦瑤希 (橋本市立隅田小学校教諭)

京都教育大学紀要 2020, No. 137, pp. 47-64.

学生のみなさんは「音楽を教える」って、イメージできますか？音楽領域専攻のみなさんは別かもしれませんが、ほとんどの方々にとっては「音楽なんて教えられるものなの？」と思うのではないのでしょうか。

何かの音楽を聴いて感動したら、それがどんなに素晴らしいか、どこが良かったか、自分の気持ちを誰かに伝えたい、そう思いませんか。

音楽という教科においては、クラシックをはじめとするさまざまなジャンルの音楽を聴いて知り、それぞれの良さを感じたり誰かに伝えたりすることをできるようになることが一つの目標です。

学習指導要領に共通事項が導入されたことで、音楽科授業で楽曲をどのように取り扱うべきかがより明確になりました。しかし、音楽科を専門としない教員にとっては例えば「音楽を形づくっている要素」をどのように指導したらよいか、とてもむずかしいのではないのでしょうか。

お気に入りの歌を別のアーティストがカバーしていたら、違った印象に聞こえます。また、インストゥルメンタルで聞こえてきたメロディを聞き覚えのある旋律だと思って聞いていると、実はよく知っている歌だったということもあるでしょう。

このように、同じ曲でも演奏方法が違うと、まったく印象が変わります。このことを手掛かりとして、鑑賞授業で子供たちにある作品のオリジナルと編曲とを比較させることで、それぞれの楽器や声の音色に興味を持たせることができるのではないのでしょうか。

この研究では、共通事項の「音楽を特徴付けている要素」のうち、特に「音色」を指導する場合にどのようにしたらよいのか、という視点で、鑑賞授業において編曲作品を扱うことの有効性を考察しています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 137号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUER)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2020年11月							2020年12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30						27	28	29	30	31		

11/4 館内整理日
11/13-15 藤陵祭(中止)
11/28 推薦入試

12/5 推薦入試
12/22-1/4 冬季休業

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.242 (2020年11月号)

発行日:2020年11月2日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION